

盛岡市出資等法人 経営評価シート

(平成24年4月1日現在)

1 法人の概要

法人名	財団法人盛岡市文化振興事業団	所管課	文化国際課
所在地	〒020 - 0045 盛岡市盛岡駅西通2-9-1 マリオス5階		
電話番号	(019) 621 - 5102	設立年月日	平成9年10月15日
代表者	理事長 三浦宏 <input type="checkbox"/> 常勤 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤	<input type="checkbox"/> 市OB	<input type="checkbox"/> 市現職 <input checked="" type="checkbox"/> その他
設立目的	盛岡市における文化の振興を図ることにより、市民の心豊かな生活の実現に資することを目的とする。		
主要事業	① 音楽、舞踊、演劇、美術その他の芸術文化の鑑賞事業 ② 市民の文化活動の育成及び支援の事業 ③ 文化に関する情報の収集及び提供の事業 ④ 文化に関する調査、研究、展示等の事業 ⑤ 盛岡市から指定管理を受けた文化関係施設及び歴史文化施設並びに公民館の管理運営 ⑥ その他事業団の目的を達成するために必要な事業		

2 情報公開の状況

法人のホームページの有無	<input checked="" type="checkbox"/> ある (アドレス http:// www.mfca.jp)
	<input type="checkbox"/> 作成中・作成計画あり (公開予定時期 平成 年 月) <input type="checkbox"/> 作成予定なし
法人ホームページでの情報の提供内容(作成中の法人においては提供予定内容)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業内容 <input checked="" type="checkbox"/> 財務状況 <input type="checkbox"/> 役員氏名 <input checked="" type="checkbox"/> その他(寄付行為, 設立趣意書)
ホームページ以外での情報提供の方法	情報誌「ぼけっと」、事業チラシ

3 職員構成及び給与体系

(単位:人)

		常勤			非常勤	合計	
			うち市OB	うち市派遣			
役員	理事	1	1	0	8	9	
	監事	0	0	0	2	2	
	計	1	1	0	10	11	
職員	管理職	正職員	7	2	0	2	17
		臨時職員	8	—	—		
	一般職	正職員	7	0	0	22	61
		臨時職員	32	—	—		
	計	正職員	14	2	0	24	78
		臨時職員	40	—	—		
前年度と比較して職員数の増減		増 0	減 0	常勤職員の平均年齢	44.4 歳		
常勤職員の給与体系		<input type="checkbox"/> 法人独自の給与体系 <input type="checkbox"/> 市の給与体系を準用 <input checked="" type="checkbox"/> その他(一部市の給与体系を準用)					

4 財政状況等

資本金 (基本財産)	100,000 千円	本市出資等額	100,000 千円	本市出資等割合	100.0 %																		
主な出資等者	<table border="1"> <tr> <td>① 盛岡市</td> <td>(出資等割合 100 %)</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>(出資等割合 %)</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>(出資等割合 %)</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>(出資等割合 %)</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>(出資等割合 %)</td> </tr> </table>					① 盛岡市	(出資等割合 100 %)	②	(出資等割合 %)	③	(出資等割合 %)	④	(出資等割合 %)	⑤	(出資等割合 %)								
① 盛岡市						(出資等割合 100 %)																	
②						(出資等割合 %)																	
③						(出資等割合 %)																	
④						(出資等割合 %)																	
⑤						(出資等割合 %)																	
平成24年度における当市の財的関与の状況	補助金	116,555 千円	(収入全体の 13.6 %)																				
	負担金・交付金	千円	(収入全体の %)																				
	委託料	千円	(収入全体の %)																				
	指定管理料	618,003 千円	(収入全体の 71.9 %)																				
	貸付金	千円	(収入全体の %)																				
補助金内訳	<table border="1"> <tr> <td>① 財団総務管理費</td> <td>(平成24年度予算額 89,189 千円)</td> </tr> <tr> <td>② 芸術鑑賞事業費</td> <td>(平成24年度予算額 16,816 千円)</td> </tr> <tr> <td>③ 文化会館活動事業費</td> <td>(平成24年度予算額 9,206 千円)</td> </tr> <tr> <td>④ 情報誌発行事業</td> <td>(平成24年度予算額 1,296 千円)</td> </tr> <tr> <td>⑤ 盛岡てがみ館文化活動事業費</td> <td>(平成24年度予算額 48 千円)</td> </tr> </table>					① 財団総務管理費	(平成24年度予算額 89,189 千円)	② 芸術鑑賞事業費	(平成24年度予算額 16,816 千円)	③ 文化会館活動事業費	(平成24年度予算額 9,206 千円)	④ 情報誌発行事業	(平成24年度予算額 1,296 千円)	⑤ 盛岡てがみ館文化活動事業費	(平成24年度予算額 48 千円)								
① 財団総務管理費	(平成24年度予算額 89,189 千円)																						
② 芸術鑑賞事業費	(平成24年度予算額 16,816 千円)																						
③ 文化会館活動事業費	(平成24年度予算額 9,206 千円)																						
④ 情報誌発行事業	(平成24年度予算額 1,296 千円)																						
⑤ 盛岡てがみ館文化活動事業費	(平成24年度予算額 48 千円)																						
負担金・交付金内訳	<table border="1"> <tr> <td>①</td> <td>(平成24年度予算額 千円)</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>(平成24年度予算額 千円)</td> </tr> </table>					①	(平成24年度予算額 千円)	②	(平成24年度予算額 千円)														
①	(平成24年度予算額 千円)																						
②	(平成24年度予算額 千円)																						
委託料内訳	<table border="1"> <tr> <td>①</td> <td>(平成24年度予算額 千円)</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>(平成24年度予算額 千円)</td> </tr> </table>					①	(平成24年度予算額 千円)	②	(平成24年度予算額 千円)														
①	(平成24年度予算額 千円)																						
②	(平成24年度予算額 千円)																						
指定管理料内訳	<table border="1"> <tr> <td>① 市民文化ホール指定管理料</td> <td>(平成24年度予算額 247,169 千円)</td> </tr> <tr> <td>② 都南文化会館・都南公民館指定管理料</td> <td>(平成24年度予算額 83,274 千円)</td> </tr> <tr> <td>③ 盛岡劇場・河南公民館指定管理料</td> <td>(平成24年度予算額 82,985 千円)</td> </tr> <tr> <td>④ 洪民文化会館・洪民公民館・洪民図書館指定管理料</td> <td>(平成24年度予算額 56,022 千円)</td> </tr> <tr> <td>⑤ 先人記念館指定管理料</td> <td>(平成24年度予算額 59,216 千円)</td> </tr> <tr> <td>⑥ 原敬記念館指定管理料</td> <td>(平成24年度予算額 22,069 千円)</td> </tr> <tr> <td>⑦ 盛岡てがみ館指定管理料</td> <td>(平成24年度予算額 20,830 千円)</td> </tr> <tr> <td>⑧ 河南公民館指定管理料</td> <td>(平成24年度予算額 25,412 千円)</td> </tr> <tr> <td>⑨ 都南公民館指定管理料</td> <td>(平成24年度予算額 21,026 千円)</td> </tr> </table>					① 市民文化ホール指定管理料	(平成24年度予算額 247,169 千円)	② 都南文化会館・都南公民館指定管理料	(平成24年度予算額 83,274 千円)	③ 盛岡劇場・河南公民館指定管理料	(平成24年度予算額 82,985 千円)	④ 洪民文化会館・洪民公民館・洪民図書館指定管理料	(平成24年度予算額 56,022 千円)	⑤ 先人記念館指定管理料	(平成24年度予算額 59,216 千円)	⑥ 原敬記念館指定管理料	(平成24年度予算額 22,069 千円)	⑦ 盛岡てがみ館指定管理料	(平成24年度予算額 20,830 千円)	⑧ 河南公民館指定管理料	(平成24年度予算額 25,412 千円)	⑨ 都南公民館指定管理料	(平成24年度予算額 21,026 千円)
① 市民文化ホール指定管理料	(平成24年度予算額 247,169 千円)																						
② 都南文化会館・都南公民館指定管理料	(平成24年度予算額 83,274 千円)																						
③ 盛岡劇場・河南公民館指定管理料	(平成24年度予算額 82,985 千円)																						
④ 洪民文化会館・洪民公民館・洪民図書館指定管理料	(平成24年度予算額 56,022 千円)																						
⑤ 先人記念館指定管理料	(平成24年度予算額 59,216 千円)																						
⑥ 原敬記念館指定管理料	(平成24年度予算額 22,069 千円)																						
⑦ 盛岡てがみ館指定管理料	(平成24年度予算額 20,830 千円)																						
⑧ 河南公民館指定管理料	(平成24年度予算額 25,412 千円)																						
⑨ 都南公民館指定管理料	(平成24年度予算額 21,026 千円)																						
貸付目的	(貸付金がある場合記入)	利用料金対象施設	(利用料金制を採用している施設がある場合記入)																				
		盛岡市民文化ホール・盛岡市都南文化会館・盛岡劇場・盛岡市洪民文化会館・盛岡市河南公民館・盛岡市都南公民館	利用料金収入(平成24年度予算額)	70,394 千円																			
			法人の収入全体の	8.2 %																			

5 指定管理者となっている公の施設(現在, 公の施設の指定管理者となっている団体のみ記入)

施設の名 称	盛岡市民文化ホール・盛岡市都南文化会館・盛岡劇場・盛岡市洪民文化会館・盛岡てがみ館・原敬記念館・盛岡市先人記念館・盛岡市河南公民館・盛岡市都南公民館
--------	--

6 法人の経営内容の詳細(その1:公益法人用)

※複数の会計を持つ法人は、合算して記載すること。

(単位:千円, %, 人)

区 分		平成21年度	平成22年度	平成23年度
収支の状況	総収入	862,328	930,875	937,479
	当期収入(A)	812,102	883,670	871,300
	基本財産運用収入	930	899	887
	会費収入(入会金収入を含む)	1,382	1,416	1,114
	補助金等収入	116,475	118,387	119,907
	うち市からの補助金等(B)	115,853	118,387	115,711
	事業収入(C)	689,283	745,622	744,899
	うち自主事業収入	116,608	120,769	116,829
	うち市からの委託料(D)	0	0	0
	うち市からの指定管理料(E)	572,675	624,853	628,070
	繰入金収入	0	0	0
	市からの借入金	0	0	0
	その他の収入	4,032	17,346	4,493
	前期繰越額	50,226	47,205	66,179
	総支出	815,123	864,697	857,535
当期支出	815,123	864,697	857,535	
人件費	209,302	237,314	237,939	
事業費(人件費除く)	587,517	596,696	600,579	
管理費(人件費除く)	3,974	5,703	3,803	
資産取得支出	14,330	23,534	13,051	
繰入金支出	0	0	0	
その他の支出	0	1,450	2,163	
当期収支差額	▲ 3,021	18,973	13,765	
次期繰越収支差額	47,205	66,179	79,943	
財産の状況	資産(F)	257,997	278,688	313,102
	うち固定資産	128,969	149,024	158,594
	うち流動資産(G)	129,028	129,664	154,508
	負債	89,242	78,682	88,565
	うち固定負債	8,295	15,669	15,129
	うち流動負債(H)	80,947	63,013	73,436
正味財産(I)	168,754	200,006	224,536	
うち当期正味財産増減額	1,141	31,251	24,530	
財務指標	流動比率(G/H)	159.3	205.7	210.3
	自己資本比率(I/F)	65.4	71.7	71.7
	当期収入に占める市補助金等の割合(B/A)	14.2	13.3	13.2
	事業収入に占める市委託料, 指定管理料の割合((D+E)/C)	83.0	83.8	84.3

区 分		平成21年度	平成22年度	平成23年度
組織の状況	常勤役員数	1	1	1
	うち本市OB	1	1	1
	うち本市派遣職員	0	0	0
	職員総数	59	77	78
	うち常勤職員数	59	52	59
	うち本市OB	6	6	6
	うち本市派遣職員	0	0	0
	うち管理職員数	10	16	16
	常勤役員比率(常勤役員数/総役員数)	8.3%	9.1%	9.1%
	管理職員比率	16.9	20.8	20.5
職員新規採用数	21	8	9	
うち常勤職員数	21	7	8	
事業指標	① 盛岡市民文化ホール利用人数	262,531	272,485	281,896
	② 都南文化会館利用人数	62,654	57,506	66,659
	③ 盛岡劇場利用人数	61,627	59,185	59,252
	④ 渋民文化会館利用人数	18,003	19,055	24,928
	⑤ 先人記念館利用人数	17,581	15,258	13,149
	⑥ 原敬記念館利用人数	7,621	8,154	7,153
	⑦ 盛岡てがみ館利用人数	6,352	5,169	3,539
	⑧ 河南公民館利用人数	-	32,944	30,986
	⑨ 都南公民館利用人数	-	91,600	95,101
本市の財政的関与等の状況	補助金額	115,853	118,387	115,711
	① 財団総務管理費	88,971	91,139	89,213
	② 芸術鑑賞事業費	17,332	17,698	16,948
	③ 文化会館活動事業費等	8,206	8,206	8,206
	④ 情報誌発行業務	1,296	1,296	1,296
	⑤ 盛岡てがみ館文化活動事業費	48	48	48
	負担金・交付金額	0	0	0
	①	0	0	0
	②	0	0	0
	委託金額	0	0	0
	①	0	0	0
	②	0	0	0
	上記のうち再委託額	0	0	0
	上記業務の委託契約方法			
	指定管理料	572,675	624,852	628,067
	① 盛岡市民文化ホール指定管理料	247,049	247,436	248,631
	② 都南文化会館・都南公民館指定管理料	83,274	85,072	86,095
③ 盛岡劇場・河南公民館指定管理料	82,986	84,350	85,175	
④ 渋民文化会館指定管理料	56,023	57,345	58,386	
⑤ 先人記念館指定管理料	60,036	60,784	60,035	

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度
⑥ 原敬記念館指定管理料	22,477	22,597	22,477
⑦ 盛岡てがみ館指定管理料	20,830	20,830	20,830
⑧ 河南公民館指定管理料	-	25,412	25,412
⑨ 都南公民館指定管理料	-	21,026	21,026
貸付金額	0	0	0
損失補償額	0	0	0
債務保証額	0	0	0

平成23年度決算の概要

- ・年度当初は、震災の影響により催事の中止や延期のほか利用者・来館者が減少したが、夏以降は例年並みの利用となった。
- ・光熱水費、特に節電に職員一丸となって取り組み、支出の抑制につながった。
- ・光熱水費の差額及び燃料費不足分としていただいた指定管理料をもとに利用者サービス向上のひとつとして各種修繕を行った。
- ・国庫補助金や助成金を積極的に獲得し、外部資金の導入に努めた。
- ・基本財産及び運用財産を適正に管理・運用し、健全な法人運営を行った。

法人の経営内容の詳細(その2)

法人名	盛岡市文化振興事業団
所管課	文化国際課

(1) 目的適合性(公益性)

項目	番号	質問	チェック欄	
			はい	いいえ
1 設立目的	1	法人は、設立目的に沿った活動を行っている。	○	
	2	全ての事業内容が、設立目的または趣旨にしたがって展開されている。	○	
	3	現在の社会経済情勢の下でも、法人の設立目的や事業には公益性が認められる。	○	
	4	法人を取り巻く社会経済状況は、設立当初から大きな変化はない。		○
2 代替性	5	民間等(株式会社の場合、他の事業者等)において、代替が可能な類似の事業が行われていない。	○	
	6	現在の事業量は、最大時の事業量と比べて著しく減少していない。	○	
	7	法人が事業を廃止すると、事業の実施する事業者がまったくなくなり、市民が不利益を被る。	○	
3 市の施策推進における役割	8	法人の活動は、関連する市の政策、施策に結びついている。	○	
	9	盛岡市総合計画やその他の部門別計画において、法人の役割が規定されている。	○	
	10	盛岡市総合計画やその他の部門別計画において、法人が実施する事業の施策上の役割、方向が規定されている。	○	
合計			9	1

はいの割合

90	%
----	---

・評価コメント

目的適合性(公益性)について総括的に評価し、課題が生じている場合、その解決のためにどのような方策を講じるかについて記載してください。また、法人に対する所管課としての関与のあり方について記載してください。

出資法人	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の施策である文化の振興について、市と一体性を持ちながら事業を推進することが当事業団の目的であり、優れた生の芸術に触れる機会を提供し、又市民自らの文化芸術活動や公民館、博物館等社会教育を支援育成する講座等を行い、市民の心豊かな生活の実現に寄与することを目的とする公益的な事業の充実を図っている。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当事業団の事業目的を達することはもとより、盛岡市の施策にそって、盛岡市及び盛岡市教育委員会と連携し子どもから高齢者までを対象とする講座、教室等を拡充するなど、教育普及プログラムの充実に努めているが、安定的な財源の確保はもとより、多様化、高度化する市民ニーズに、十分応えきれていない部分も生じてきている。 <p>[方策]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部資金の確保や事務の効率化。ボランティア等協力者の育成や、地域や文化芸術団体、社会教関係団体等との連携。
所管課	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化振興事業団の設置目的は盛岡市における文化の振興を図り、もって市民の心豊かな生活の実現に寄与することであり、市と一体的に取り組みながら、その専門性を活かした優れた芸術鑑賞事業や芸術活動事業を、それぞれの館の特徴を生かし実施しており、芸術公共の福祉の向上に寄与している。 <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業団を取り巻く社会経済状況は設立当時に比較し大きく変わっており、また、市民のニーズは多様化している。このような時代の変化や多様なニーズへの対応が求められている。 <p>[方策]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人への移行を機に、公益財団法人のメリットを活かした事業展開が図られることを期待している。

(2) 計画性

項目	番号	質問	チェック欄	
			はい	いいえ
1 経営基本方針	1	経営基本方針を策定している。	○	
	2	経営基本方針の内容は、簡潔明瞭である。	○	
	3	経営基本方針には、法人の存在理由が規定されている。	○	
	4	経営基本方針について、経営陣が全ての役職員に周知している。	○	
	5	経営基本方針は、全ての役職員に浸透している。	○	
	6	全ての役職員が、経営基本方針に従った行動をとっている。	○	
2 中長期経営計画	7	具体的な指標に基づく中長期経営計画を策定している。	○	
	8	中長期経営計画と実績についての分析は、半期以内のサイクルで行っている。		○
	9	中長期経営計画と実績についての分析結果を経営陣に報告し、分析結果に基づき業務改善を議論する仕組みがある。	○	
	10	中長期経営計画と実績についての分析結果を中長期計画の見直しに反映させている。	○	
	11	中長期経営計画と実績についての分析結果に基づき、計画を達成するための具体的な業務の改善策を実施している。	○	
3 年次事業計画	12	年次ごとの事業計画を策定している。	○	
	13	年次事業計画と実績について分析し、分析結果を次年度以降の事業計画や中長期経営計画に適切に反映させる仕組みとなっている。	○	
	14	年次事業計画と実績についての分析は、半期以内のサイクルで行っている。	○	
	15	年次事業計画と実績についての分析結果を経営陣に報告し、議論する仕組みがある。	○	
	16	年次事業計画と実績についての分析結果に基づき、具体的な業務の改善策を実施している。	○	
4 経営環境の把握	17	法人の経営資源の長所、短所を把握し、法人の活動に反映させている。	○	
	18	外部経営環境(事業に関わる社会経済の動向・法令等の動きなど)を把握している。	○	
合計			17	1

はいの割合

94	%
----	---

・評価コメント

計画性について総括的に評価し、課題が生じている場合、その解決のためにどのような方策を講じるかについて記載してください。また、法人に対する所管課としての関与のあり方について記載してください。

出資法人	[現状] ・平成25年度までの経営計画を策定している。
	[課題] ・現在は、指定管理の指定年数に合わせて5年を基本に策定している。実際には10年の期間で考えて計画を考えたいが、5年の指定管理期間で結果をもとめられており現状では難しい。
	[方策] ・平成26年度以降の計画については、指定管理期間の問題もあるが、5年以上の期間についても長期的のパンにたった部分も導入し策定する方向で検討。
所管課	[現状] ・平成25年度までの経営計画が策定されており、それに基づいた経営が行われている。
	[課題] ・芸術文化の振興については、長期的、持続的な取り組みが求められることから長期の計画策定が必要である。
	[方策] ・市と事業団との共同で、事業団のあり方、施設のあり方等について協議を行い、長期計画の策定に取り組む。

(3) 経営管理の仕組み

項目	番号	質問	チェック欄	
			はい	いいえ
1 組織管理	1	組織構造は経営環境の変化に応じて定期的に見直しされている。	○	
	2	組織を機能ごと、または事業ごとに分け、役割を明確にしている。	○	
	3	部門ごとの連携が円滑に行われる組織体制になっている。	○	
	4	異なる業務間の配置転換、権限委譲等により組織の活性化を図っている。	○	
2 コスト管理	5	事業別、業務別など、個別の事業内容に関するコスト分析を実施している。	○	
	6	コスト分析の結果が、経営計画や事業内容へ反映される仕組みとなっている。	○	
3 顧客満足度	7	定期的に顧客満足度調査を実施している。	○	
	8	顧客満足度調査の結果を分析し、分析結果を経営に適切に反映させる仕組みとなっている。	○	
	9	顧客満足度調査の結果を分析し、顧客のニーズを把握している。	○	
	10	顧客のニーズを分析し、その結果を踏まえて改善努力をしている。	○	
	11	中長期経営計画や年次事業計画に顧客のニーズを反映させている。	○	
4 職員の 人材育 成・能力 開発	12	業務に必要な知識を身につけるための職員研修や派遣を実施している。	○	
	13	研修等により、実際に職員の能力・技術が向上している。	○	
	14	職員が法人の活動に関わりのある資格を取得している。	○	
	15	職員が研修で得たノウハウを、他の職員も共有している。	○	
	16	必要に応じ、専門知識を有する外部の人材を活用（職員として採用、指導や助言を受ける、など）している。	○	
	17	人材育成や能力開発を中長期経営計画等に盛り込んでいる。	○	
	18	経営陣は、人材育成や能力開発に積極的に関与し、かつ自らも学習し取り組んでいる。	○	
5 業務執 行体制	19	決裁などの日常業務の意思決定や事務分掌、現金管理等、業務上の必要な規定が適切に整備されている。	○	
	20	理事会、取締役会をはじめとした業務執行体制が関係法令等に基づき適切に整備され、実質的に機能を果たしている。	○	
	21	経営上重要な意思決定は、理事会（取締役会、株主総会）の決議により行っており、必要に応じて迅速に開催できる体制が整っている。	○	
	22	監査の指摘事項に対して、改善策を実施している。	○	
	23	財務状況は、年度途中で定期的（必要があれば随時）に経営陣に報告する仕組みがある。	○	
6 情報公 開	24	法人の財務状況や事業成果を積極的に外部に公表している。	○	
合計			24	0

はいの割合 100 %

・評価コメント

経営管理の仕組みについてについて総括的に評価し、課題が生じている場合、その解決のためにどのような方策を講じるかについて記載してください。また、法人に対する所管課としての関与のあり方について記載してください。

出資法人	<p>[現 状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価システムを構築、改良し経営の改善を図っている。又日常的な経営改善については毎月の事務局・館長会議で検証、改善を図り、年度の実績については自己評価シートにより点検、分析の結果を役員会に報告し指導を受けている。
	<p>[課 題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理運営を行う施設の種類の文化会館、博物館、公民館と増えたことから、趣旨の異なる施設についてさらに専門的な観点での経営管理が必要となってくる。
	<p>[方 策]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化会館、博物館、公民館についてそれぞれ特徴があるため、そのおのおの施設の課題について有効な方策を検討する。
所管課	<p>[現 状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価システムの活用や毎月の会議での検証により経営改善が図られるよう努めている。
	<p>[課 題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成や能力開発など更なる専門家の育成が求められている。
	<p>[方 策]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・限られた指定管理期間や予算という制約があるものの、事業団の存在意義である専門分野について人材育成等により、更なる充実度を高めることを期待する。

(4) 財務状況(公益法人用)

項目番号	番号	質問	チェック欄	
			はい	いいえ
1 財務状況	1	債務超過になっていない。	○	
	2	自己資本が十分に確保されている。	○	
	3	借入金に依存しない資金運用を行っている。	○	
	4	市に対する収入依存度は改善の傾向にある。	○	
	5	正味財産増減額がプラスである。	○	
	6	資金収支が黒字である。	○	
	7	正味財産がプラスである。	○	
合計			7	0

はいの割合

100	%
-----	---

・評価コメント

財務状況についてについて総括的に評価し、課題が生じている場合、その解決のためにどのような方策を講じるかについて記載してください。また、法人に対する所管課としての関与のあり方について記載してください。

出資法人	[現状] ・平成24年度から原敬記念館・盛岡市先人記念館は5年間、再指定され指定管理者となった。
	[課題] ・昨今の社会状況から経費は毎年見直し削減に努めてきたが、燃料費の高騰もあり限界が近づいている。
	[方策] ・法人の目的達成のため、経費削減だけではなく、新たな財源の確保が必要であり、広告料や助成金の新たな開拓や、その他収入に繋がる物品等の販売を引き続き考えていきたい。
所管課	[現状] ・財務状況は健全に推移していると評価する。
	[課題] ・市の厳しい財政状況のもとで、今後も補助金の縮減や指定管理料の見直しが進められる中、経費の削減については限界に来ている。新たな財源の確保が急務となっている。
	[方策] ・国や各種助成団体からの助成金の確保ができるよう助成金の情報収集に努め、事業団と連携し新たな財源確保に努める。

(5) 活動成果

項目	番号	質問	チェック欄	
			はい	いいえ
1 成果指標	1	各業務について、成果指標が数値で具体的に設定されている。	○	
	2	法人の設立目的と連動した指標となっている。	○	
	3	事業ごとに数値目標を設定している。	○	
	4	指標や目標は、類似の事業を行う他の団体(他の地方自治体の出資等法人など類似団体、民間企業、非営利団体等)の動向を踏まえて設定したものである。		○
2 活動成果の評価と公表	5	主要な成果指標について良好な水準を保っている、または改善の傾向にある。	○	
	6	成果指標の達成度について定期的に検証が行われている。	○	
	7	法人の活動成果について、外部委員等による定期的な点検・評価が行われている。	○	
	8	活動成果をホームページ等の媒体を使って住民に公開している。	○	
合計			7	1

はいの割合 88 %

・成果指標について(指標名と実績を記載願います。)

成果指標名	単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度
① 芸術鑑賞事業入場者数	人	29,465	25,111	34,446
② 芸術鑑賞事業入場者満足度	%	95.7%	96.0%	96.3%
③ 文化会館活動事業参加者数	人	11,607	9,254	7,817
④ 文化会館活動事業参加者満足度	%	97.9%	89.6%	95.1%
⑤ 盛岡市民文化ホール入館者数	人	260,377	272,377	281,896
⑥ 都南文化会館入館者数	人	62,654	67,506	66,659
⑦ 盛岡劇場入館者数	人	61,627	59,185	59,252
⑧ 洪民文化会館入館者数	人	18,997	19,055	24,928
⑨ 原敬記念館入館者数	人	7,621	8,154	7,153
⑩ 先人記念館入館者数	人	17,581	15,258	13,149
⑪ 盛岡てがみ館入館者数	人	6,352	5,169	3,539
⑫ 河南公民館入館者数	人	99,197	91,600	95,101
⑬ 都南公民館入館者数	人	33,024	32,944	30,986

・評価コメント

活動成果について総括的に評価し、課題が生じている場合、その解決のためにどのような方策を講じるかについて記載してください。また、法人に対する所管課としての関与のあり方について記載してください。

出資法人	[現状] ・各事業の成果についてそれぞれ指標を設定し、数的に評価を行っている。また、その数的評価に加えその他利用者からの声を反映させ、総合的な評価も行っている。
	[課題] ・個々の事業の成果については指標を設定し評価を行っているが、この成果が文化の振興にどのように影響しているかについて把握することも必要である。
	[方策] ・事業の成果が、文化の振興、社会教育の推進等にどのように影響しているかの把握についてその方策、方法を検討することとしたい。
所管課	[現状] ・各事業において経済状況や取り巻く環境の変化があった中で、一定の成果を出してきたものと評価する。
	[課題] ・既存の活動を行うだけではなく新たな活動を創出し、成果指標を設定して評価していく必要がある。
	[方策] ・市と事業団が共同で、法人のあり方について検討するとともに、新たな活動及び活動成果についても検討していく。

(6) 平成21年度第三者評価結果(全体評価結果)における取組状況

・全体評価結果を踏まえて、市の財政状況に左右されない自立した経営や自主財源の確保策等これまでの法人及び所管課の取組状況について記載してください。

<全体評価結果(抜粋)>

1. 経営環境の変化への対応について

環境の変化に適切に対応しながら、確実に公益性を発揮し、市の施策の推進をサポートできる活動成果を継続的に上げていくことができるよう、経営管理体制の充実などの取組みが望まれます。

2. 補助金, 指定管理料について

市の厳しい財政状況を踏まえ、義務的経費を除いた経営に要する費用を極力抑制しつつ、活動成果の維持・向上を達成しながら、補助金や指定管理料の抑制に努めることが望まれます。

出資法人	所管課
事業実施に係る自主財源の確保のため、助成金等外部資金の積極的な導入をはかっています。また、公益財団法人への移行申請を行っており、移行後は寄付金の税制優遇を利用した、寄付金収入を積極的に受け入れられる環境の整備も検討して行く。	補助金の削減を行い、新たなる財源確保にむけ助成金等の情報収集や提供を行い、助成金等の財源確保に努めている。

(7) 平成21年度補助金評価結果における取組状況<所管課>

・21年度に庁内評価及び第三者評価を受けて策定した措置計画に対するこれまでの所管課の取組状況について記載してください。

名称	(財)盛岡市文化振興事業団事業費補助金			所管課	文化国際課		
概要	事業団が文化会館4館で実施する芸術鑑賞事業、芸術文化活動事業及び情報誌発行事業に対する補助金						
	開始年度	H10	補助の相手方	(財)盛岡市文化振興事業団	H21予算	26,834	千円
H21一次評価結果	見直し継続	有効性向上	市の文化施策方針に沿って芸術文化鑑賞事業及び文化会館活動事業を実施し、文化の振興に寄与することを成果とする。具体的に鑑賞者数、参加者数及び満足度を指標として設定し、各事業の実施状況を法人のホームページにて公表することを検討する。				
H21二次評価結果	見直し継続	有効性向上	所管課評価のとおり				
H21措置計画	補助金を受けて実施する事業について、市の文化施策方針に沿っているかどうか文化振興事業団と検討するとともに、指標を設定し、事業団のホームページで公表する。						
	H22	・事業内容の検討 ・公表する指標の検討		H23	検討結果に基づき措置	H24	同左
措置状況	取組内容						
<input checked="" type="checkbox"/> 措置計画通り <input type="checkbox"/> 一部措置計画通りでない <input type="checkbox"/> 措置計画通りでない	鑑賞者数、参加者数及び満足度を指標として設定し、各事業の実施状況について事業団のホームページで公表を行っている。						

名称	(財)盛岡市文化振興事業団運営費補助金		所管課	文化国際課		
概要	市民の芸術文化活動推進のため設立した財団に対し、安定して継続した事業展開を図るための補助金					
	開始年度	H9	補助の相手方	(財)盛岡市文化振興事業団	H21予算	93,746 千円
H21一次評価結果	見直し継続	有効性向上	毎年わずかながら補助金の減額を行ってきたところであるが、平成21年度は渋民文化会館を新たに指定管理施設として、文化振興事業団に管理委託したことから増額となった。今後は継続して補助額を減額し事業団独自で採算の取れるように働きかけていくべきである。			
H21二次評価結果	見直し継続	有効性向上	所管課評価のとおり			
H21措置計画	運営費補助金は、文化振興事業団の本体機能にかかる人件費とその他経費であり、その他経費については、適正な運用に努めてもらいながら、今後も縮減を求めていく。					
	H22	・補助内容の検討 ・透明性を高めるため、運営状況の公開について検討	H23	検討結果に基づき措置	H24	同左
措置状況		取組内容				
<input checked="" type="checkbox"/> 措置計画通り <input type="checkbox"/> 一部措置計画通りでない <input type="checkbox"/> 措置計画通りでない		補助金について、毎年見直し縮減を図っているほか、運営状況については事業団のホームページで公表を行っている。				